

みんなの目を守る

筑波大学附属小学校 五年 木村 日向子

生まれつきほとんど視力のない私は、物心ついた時には眼科医を志していた。コロナ禍の休校宣言で、それまで漠然としていた眼科医という夢が、プログラミングができる、みんなの目を守る眼科医という夢に変わった。

コロナ休校となり、たくさんさんの時間ができた。本を読むのにもあきたころ、私はプログラミングを始めた。そして三ヶ月後、初めての作品「みんなの目を守る」をコンテストに出した。画像認識を用いて、モニターからみんなの目を守るものだ。この時代、パソコンやスマートフォン、タブレットなどの電子機器は欠かせないものになっている。私が大人になるころには、もっと重要なものになってくるだろう。調べたところ、裸眼視力が一〇未満の小学生は、三十五%にも達するという。四十年前の二倍になっている。ブルーライトの光による視力低下、長い

間集中して画面を見続けることによるドライアイなどの影響が大きいだろうと言われている。私は、自分のように目の悪い子どもを一人でも救いたい。そう思っ
てプロジェクトを作成した。出場したいくつかのコンテストでは入賞し、国からの研究助成も得られた。その結果が認められ、小学生であるが、多くの眼科医によって構成されているAI眼科学会に入会することになった。今後も研究を続けていく。

大学の医学部に入るためには勉強は欠かせない。小学校、中学校、高校でしっかりと学び、同時にプログラミングのプロジェクトも進めていきたいと思っている。そして、自分自身の健康を維持するために、部活で毎日運動し、体力をつける。大学に入学後は、自分の研究分野以外にも、いろいろな人と交流を深めたいと思っている。

また、英語の勉強も必要である。多くの論文は英語であり、とりわけ近視についての論文は日本語のものが少ない。英語のコミュニケーション向上のため、今行っているオンライン英会話を続けていきたい。
将来の夢を叶えるために、今できることを一つ一つやっていきたいと思う。そして、世界中のみんなの目を守る眼科医になりたい。

木村 のライフプラン
将来なにになりたいか? 眼科医
その理由: 自分のように目の悪い子どもを1人でもへらしたいから。

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2021年	10(小5)	AI眼科学会に入会する 毎日英会話をし、語力を上げる	本代 英会話代
2022年	11(小6)	目についての本をたくさん読む 進学への勉強	AI眼科学会 入会金
2023年	12(中1)	いろいろな方からお話を聞く 体力づくり	年会費 入学のためのお金
2024年	13(中2)	眼科医の知識を広く学ぶ 本をたくさん読む	パソコン代
2025年	14(中3)	進学のために勉強	授業料
2026年	15(高1)	AIや目のことに関する プログラミング、ITコンテ ストに志ほする	コンテストの 応ぽ代
2027年	16(高2)		パソコン代
2028年	17(高3)	大学の医学部に入るために もう勉強	テキスト代 塾代
2029年	18(大1)	眼科医になるために 努力する	入学のためのお金 授業料
2030年	19(大2)	たくさんの仲間と出会い 積極的に話しかける	パソコン代
2031年	20(大3)	目のことやAIについての 専門知識について学ぶ	テキスト代
2032年	21(大4)		
2033年	22(大5)	医師国家試験に向けて 日々勉強	
2034年	23(大6)	卒業試験 医師国家試験受験→合格	1回目医師 登録費
2035年	24(研1)	大学病院にて研修に入る	
2036年	25(研2)	臨床研修終了	2回目医師 登録費
2045年	34	理想の医師になり、世界中の 困っている人たちに助ける	生活費引越費 など

※最後の行は、荷職の時にどうなっていたいか、自分で好きな年を入れてみましょう!